



令和3年度学校だより

甲府市立南西中学校

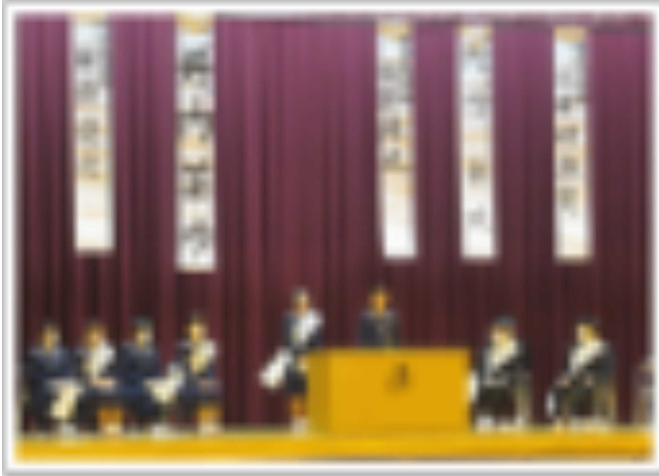
銀杏 (いちょう)

第26号

学校教育目標 「たくましい心と体を持ち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石井 敬

生徒会の新リーダー決まる!



来年度の南西中を牽引するリーダーを決める生徒会役員選挙の立会演説会と投開票が先週行われ、生徒会長に小田切湊実さん、副会長には功刀楽琥さんと井内菜歩さんがそれぞれ選出されました。

投票に先立ち行われた立会演説会では、5人の立候補者がそれぞれ思い描いている南西中の姿とその実現に向けた具体的な取組について熱く訴えかけました。毎日、学級訪問を繰り返す中で人前で話すことには少しずつ慣れてきたとは言え、広い体育館で全校生徒を

前にすると、教室で30人ほどに話すのとは雰囲気も異なり、さぞかし緊張したことでしょう。しかし、そんなことは微塵も感じさせない堂々とした話しぶりに聴く者はどんどん引き込まれていきました(写真①)。聞き手の表情や反応を感じながら自分の思いを伝えることができた今回の経験は候補者や責任者にとって大きな収穫であり、今後の生徒会活動に生かされていくものと期待しています。



①真剣な表情で聞き入る子どもたち

また、今回の選挙では、クロームブックが大活躍でした。候補者の公約はクロームブックを通して配信されていたので、演説を聞き終わったあとの“振り返り”でも、持参したクロームブック上で公約を再確認しながら感想等の記入を行いました(写真②)。



②立会演説会にもCBを持参

今後は執行部が組閣され、まずは『三年生に贈る会』に向けて新生徒会が始動することになります。コロナの状況によっては計画の変更を余儀なくされることがあるかもしれませんが、いちょう祭で3年生から『繋承』した文化・伝統とノウハウを駆使して、新生徒会による南西中の新たな歴史をつくっていくものと期待しています。

「繋」のテーマのもと展開された今年度の生徒会活動を総括!



来年度に向けて生徒会の新たな組織がつけられようとしている一方で、現生徒会では今年度の活動の総括を行いました。それをまとめた資料は先週の代議員会ですでに提案され、今後は学級討議を経て17日の臨時代議員会で協議されることになっています。生徒会活動の中心となって

活躍してきた現執行部の役目もここまでとなりますが、コロナ禍ならではの様々な弊害や苦労にもめげず、毎日、全校を、そして心を「繋」ぐという3つの活動方針の実現を目指し頑張ってくれた執行部には、誰もが感謝と労いの思いをもっていただいていることでしょう。今年度の成果と課題を明らかにし、次期生徒会にしっかり「繋承」して行ってほしいと思います。



CBでさらに豊かな学びを!

このところ、元メジャー・リーガーのイチローさんがいくつかの高校に出向いて野球の指導を行ったことが話題になっています。当該校の野球部員にとってはまさに夢のような出来事で、テレビには目を輝かせながら指導を受けている生徒の様子が映し出されていました。野球に限らず第一線で活躍した、あるいは活躍している方のお話を伺ったり、何かアドバイスをもらえたりする機会に恵まれたとしたら、子どもであれ大人であれ、自分が打ち込んでいることにも一層熱が入るというものだと思います。

実は、それと同様のことが南西中の吹奏楽部でも行われており、海外で活躍するプロの演奏家がオンラインでレッスンをしてくださっています。今週末にアンサンブルコンテストを控えた子どもたちにとっては貴重な経験であり、中身の濃い時間になっていることでしょう。張り詰めた空気の中、アイコンタクトでタイミングを見計らいながら演奏に集中する姿は、さながらプロの演奏家のような雰囲気すら漂わせています。先週のレッスンはドイツから、その前はフランスからと、繋がる国もバラエティに富んでおり、タイムラグを感じることなく双方向のやり取りがスムーズに行われていることにも驚かされます。

これも今年度から始まった『GIGAスクール構想』に因るところが大きく、市教委がICT環境をいち早く整備してくださったことで実現にこぎ着けたと言えます。授業をはじめ、いちょう祭や生徒会選挙などの生徒会活動、アンケート調査とその集計、そして今回の部活動など様々な場面や活動でクロームブックを活用した今年度の成果を生かし、今後ますます活用の幅を広げ子どもたちの学びをさらに豊かなものにしていけたらと思います。



なお、今回のオンラインレッスンの様子や授業におけるクロームブックの活用等についてNHKで取り上げていただけることとなり、次のとおり放映されます。

- 放送日：12月21日(火)
- 時間：7:45~8:00
- 番組名：おはよう日本

